

ジオスペース館だより

★ 今月の星もよう ★

秋も深まる 11 月中旬の夜8時頃、夜空ではギリシャ神話「古代エチオピア王家」のお話にまつわる星座が広がっています。まず目を引くのは、南の空高く昇るペガサス座。その胴体は《秋の四辺形》と呼ばれ、秋の夜空のシンボルです。ペガサス座の周りには、ケフェウス座、カシオペア座、アンドロメダ座、ペルセウス座、くじら座が北から東へ並んでいます。ギリシャ神話の言い伝えでは、エチオピア王国のカシオペア王妃が、「娘のアンドロメダは海の妖精たちよりも美しい」と大自慢をしたため、それを聞いて怒った海の神ポセイドンが、エチオピア王国に恐ろしい化けくじらを差し向けます。その被害に困り果てたケフェウス王は、神のお告げに従い、アンドロメダ姫を生贄に捧げようとしませんが、アンドロメダ姫が化けくじらに襲われそうになったその時、メデューサ（見たものを即座に石にしてしまうという怪物）を倒してきたばかりのペルセウス王子が、天馬ペガサスに乗って通りかかりました。ペルセウス王子は化けくじらと戦い、最後にはメデューサの首を見せつけ、化けくじらをあっという間に石に変え、アンドロメダ姫を救いました。二人はその後結婚し、幸せに暮らしたということです。

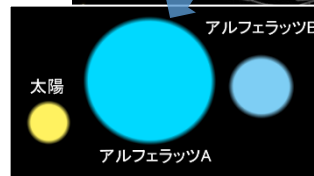
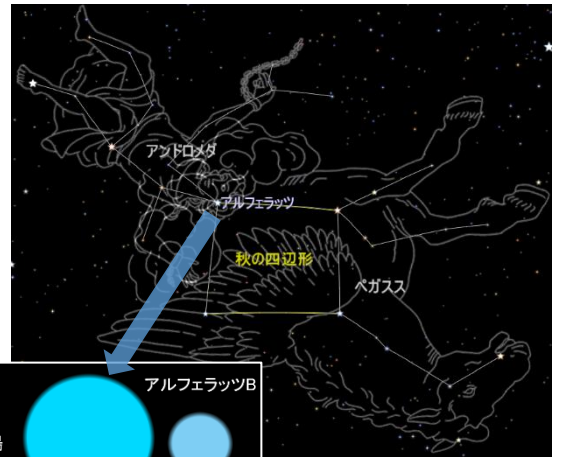


星の名	アルフェラッツ
星座	アンドロメダ座
明るさ	2.0等級
距離	97光年

★ アンドロメダ座 α 星「アルフェラッツ」

アンドロメダ座α星アルフェラッツは、秋の四辺形のうち一番北東よりにある恒星で、アンドロメダ座の頭部で輝いています。ペガサス座のお腹部分でもあるため、その名はアラビア語で「馬のへそ」という意味をもちます。かつてはアンドロメダ座とペガサス座両方のα星でしたが、20世紀初めに国際天文連合総会にて正式にアンドロメダ座α星と決定されました。

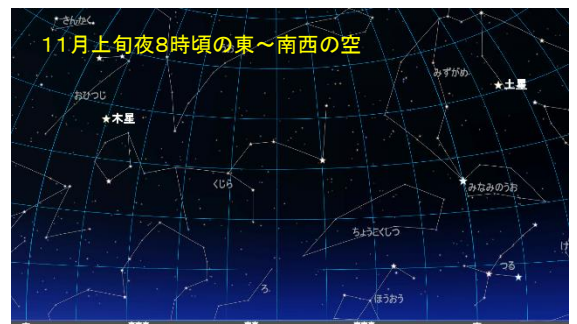
アルフェラッツは連星 (A, B) ですが、近接した軌道を持つため、映像としては確認できず、分光観測により連星であることが分かっています。表面温度は 13,000度と高温で青白い色をしており、太陽の 200倍の明るさで輝いています。



※星図はステラナビゲーター11を用いて作成

★ 衝を迎える木星が見頃!

日の入り後の南東の空で明るく輝く木星は、11月3日に衝を迎え、約-3等の明るさで輝き、見頃を迎えます。日の入り頃に東の空から昇り、真夜中に南中して、日の出の頃に西の空に沈むため、一晩中見ることができます。

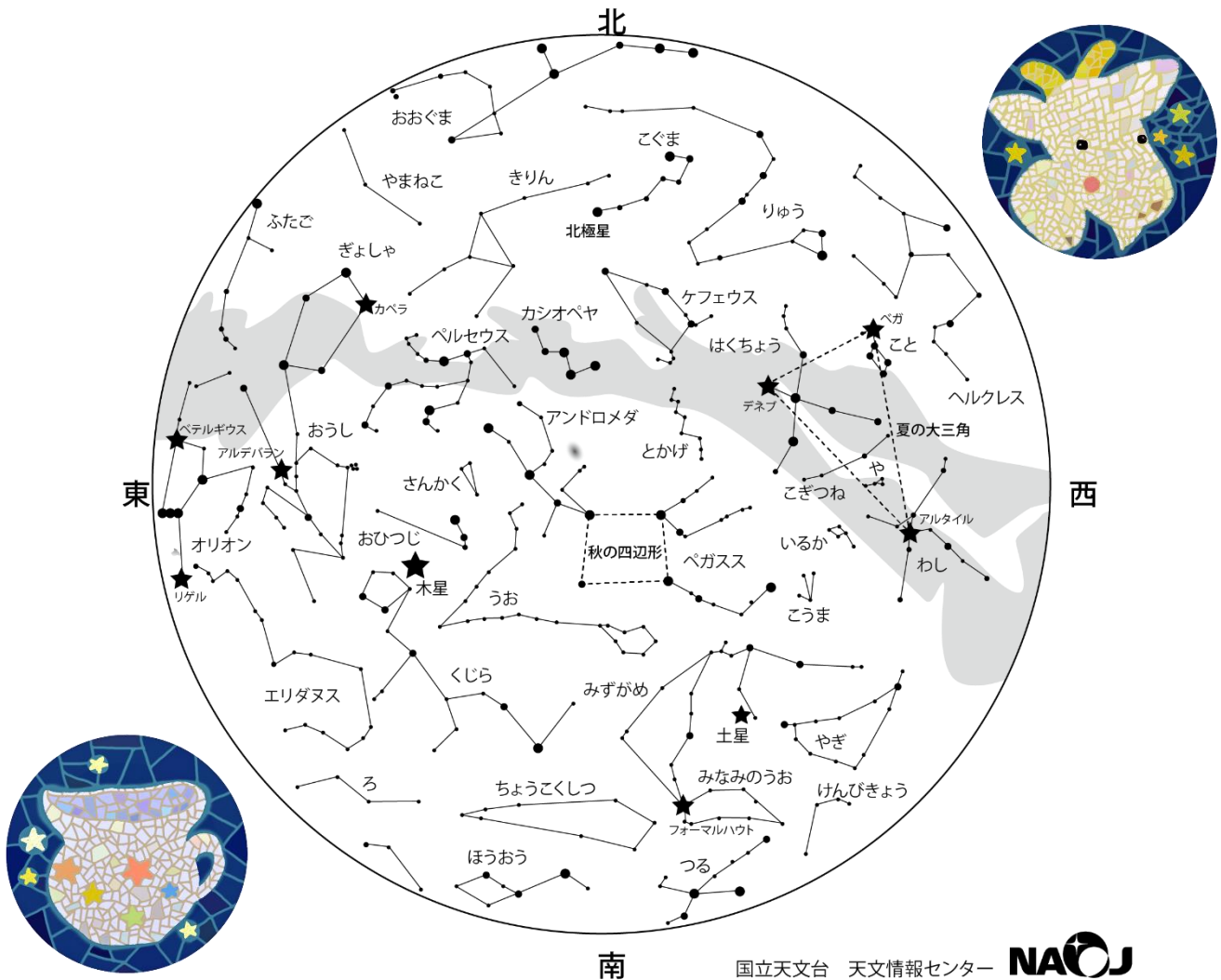


★ 11月のプラネタリウムの内容については、別刷りの「投影案内」をご覧ください ☆☆

★ プラネタリウムのお休み

11/6(月)、7(火)、13(月)、15(水)、20(月)、22(水)、24(金)

11月上旬午後9時頃の星空



南

国立天文台 天文情報センター **NAOJ**

★ 11月上旬の主な天文現象

3日 (金) 木星が衝	10日 (金) 未明に細い月と金星が接近
5日 (日) 下弦	13日 (月) おうし座北流星群が極大の頃、 ● 新月
8日 (水) 立冬	14日 (火) 天王星が衝
9日 (木) 未明に細い月と金星が接近	

★ 宇宙ステーション(豊川での主なデータ 11/1~15) ※下記時刻は、予想値です

◇ 11月 4日 (土) [見やすさ ◎]	5:46 北北西	~ 5:52 東
◇ 11月 6日 (月) [見やすさ ◎]	5:45 北西	~ 5:52 南東
◇ 11月 7日 (火) [見やすさ ◎]	4:58 北北西	~ 5:03 東南東
◇ 11月 9日 (木) [見やすさ ◎]	4:59 西南西	~ 5:04 南南東

豆知識：国際宇宙ステーション (ISS) は、明るい星が動いているように見えます。飛行機のような赤緑ランプの点滅はありません。